

## 文化財等防災ネットワーク研修

奈良文化財研究所が所属する独立行政法人国立文化財機構は、国内における文化財の防災体制を確立することを目的として、2014年7月に「文化財防災ネットワーク推進本部」を設置しました。阪神・淡路大震災、東日本大震災をはじめとする大災害により被災した文化財のレスキュー、そして、これらの取組から得られた教訓を基に、多様な分野、諸機関とのネットワークや、文化財の危機管理体制を構築するための事業を展開しています。

奈文研はこの事業の一環として、2015年3月3日からの3日間にわたって文化財等防災ネットワーク研修を開催し、地方公共団体の教育委員会や埋蔵文化財センター、および博物館や資料館等から10名の方に受講いただきました。研修では、東日本大震災での被災文化財等のレスキュー活動事例を中心とした文化財防災の取組に関する講義、さらには水損資料のカビの扱いや具体的なクリーニング方法に関する実習をおこないます。文化財の救援活動等についての実践的な知識と技術の習得に加え、文化財防災ネットワーク設立の背景や目的、全体像についても知識を深める機会となりました。

文化財の防災を考えると、「ネットワーク」は重要なキーワードです。このような研修を通して受講者同士のネットワークが広がり、また研修で得られた知識や技術を地域のネットワークへも広げていっていただけるよう、今後も同様の研修を継続していきたいと考えています。

(埋蔵文化財センター 中島 志保)



クリーニング実習の様子